

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」

連絡区分Ⅲに係る連絡（平成18年3月分）について

本日、北陸電力㈱から、「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」連絡区分Ⅲ（保守情報として連絡することが適当なもの）に該当する平成18年3月分の連絡があった。連絡のあった事象は、別紙のとおり3件。

今回の連絡があった事象は、人的ミスによるものが1件、復水器内でのひび割れが1件、圧力抑制室での異物回収が1件であり、いずれも安全上問題となるものではない。

今後、立入調査によってが内容の確認を行っていくこととしている。

なお、本事象による放射性物質の外部への放出はない。

参考) 北陸電力HP <http://www.rikuden.co.jp/mreport/index.html>

平成18年4月10日

原子力安全対策室

県庁内線 4234

県庁外線 076-225-1465

(別紙)

北陸電力から連絡があった平成18年3月の「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」連絡区分Ⅲ（保守情報として連絡することが適当なもの）の事象は、以下のとおり

平成18年3月分

発生日時	件 名	事象の概要
3月10日	1号機 残留熱除去系B系スプレイ弁の閉め忘れについて	<p>定期検査中の志賀原子力発電所1号機で、3月10日午前10時30分頃、圧力抑制室内に入域した作業員が、残留熱除去系から圧力抑制室内に水が流入したと思われる痕跡があることを発見した。</p> <p>原因は、残留熱除去系B系の水抜き作業後スプレイ弁を閉め忘れていたためであり、圧力抑制室内の水を抜く際C系のポンプを起動したため水が流入したものである。</p> <p>対策は、水抜き作業後は速やかに弁を閉じることを手順書に明記する。</p> <p>本事象による外部への放射能による影響はない。</p>
3月15日	1号機 圧力抑制室内の清掃作業結果について	<p>定期検査中の志賀原子力発電所1号機で、3月15日から圧力抑制室内の清掃作業を実施したところ、ネジ・ワッシャ等7点を発見し回収した。圧力抑制室内の水は、非常用炉心冷却系の水源としても使用されるが、これらの回収物は、いずれも非常用炉心冷却系の機能に影響を与えるものではない。</p> <p>今回の回収物は、発見箇所が狭隘部であり、サイズも小さかったことから、前回(平成16年10月)調査時に回収しきれなかったものである。</p>
3月27日	1号機 復水器真空度測定用配管の溶接部のひびについて	<p>定期検査中の志賀原子力発電所1号機で、3月27日、復水器内の真空度を測定するために設置されている機器の配管16本のうち、1本の溶接部にひびを発見した。</p> <p>当該機器の配管16本のうち、今回ひびがあったものを含む8本は試運転時に復水器の機能確認のために使用したものであり、現在は使用していない。これら8本については取り外し、配管をふさぐ。</p> <p>本事象による外部への放射能による影響はない。</p>

MO : 電動弁



系統概略図

タービン駆動原子炉給水
ポンプ(B)出口弁の断面図